

授業科目一覧

- ：リサーチワーク科目
- 無印：コースワーク科目

授業科目	単位	備考
英語学研究Ⅰ-1	2	☆
英語学研究Ⅰ-2	2	☆
英語学研究Ⅱ-1	2	☆
英語学研究Ⅱ-2	2	☆
英語学研究Ⅲ-1	2	☆
英語学研究Ⅲ-2	2	☆
言語学研究Ⅰ-1	2	☆
言語学研究Ⅰ-2	2	☆
言語学研究Ⅱ-1	2	☆
言語学研究Ⅱ-2	2	☆
英文学研究法Ⅰ-1	2	☆
英文学研究法Ⅰ-2	2	☆
17世紀英米文学研究Ⅰ-1	2	☆
17世紀英米文学研究Ⅰ-2	2	☆
19世紀英米文学研究Ⅰ-1	2	☆
19世紀英米文学研究Ⅰ-2	2	☆
20世紀英米文学研究Ⅰ-1	2	☆
20世紀英米文学研究Ⅰ-2	2	☆
20世紀英米文学研究Ⅱ-1	2	☆
20世紀英米文学研究Ⅱ-2	2	☆
現代作品研究Ⅰ-1	2	☆
現代作品研究Ⅰ-2	2	☆
現代作品研究Ⅱ-1	2	☆
現代作品研究Ⅱ-2	2	☆
現代作品研究Ⅲ-1	2	☆
現代作品研究Ⅲ-2	2	☆
近現代文芸論Ⅰ-1	2	☆
近現代文芸論Ⅰ-2	2	☆
英米文学批評Ⅰ-1	2	☆
英米文学批評Ⅰ-2	2	☆
翻訳理論と実践Ⅰ-1	2	☆
翻訳理論と実践Ⅰ-2	2	☆
翻訳理論と実践Ⅱ	4	☆
●英語英文学論文演習Ⅰ-1	2	☆
●英語英文学論文演習Ⅰ-2	2	☆
●英語英文学論文演習Ⅱ-1	2	☆
●英語英文学論文演習Ⅱ-2	2	☆
●英語英文学論文演習Ⅲ-1	2	☆
●英語英文学論文演習Ⅲ-2	2	☆
●英語英文学論文演習Ⅳ-1	2	☆
●英語英文学論文演習Ⅳ-2	2	☆
●英語英文学論文演習Ⅴ-1	2	☆
●英語英文学論文演習Ⅴ-2	2	☆
●英語英文学論文演習Ⅵ-1	2	☆
●英語英文学論文演習Ⅵ-2	2	☆
●英語英文学論文演習Ⅶ-1	2	☆
●英語英文学論文演習Ⅶ-2	2	☆

備考：☆印は再履修することができる科目を示す  
本年度に開講する科目についてはシラバス等を参照すること

履修要項

●単位の修得方法

修了要件単位（30単位以上）は次のように修得する。

- (1) 修了要件単位のうち、20単位以上を左記の本学大学院の英語英文学専攻において修得する。
- (2) 残りの10単位以上については、次の科目から修得する（ただし、1科目の単位の一部を分けて算入することはできない）。
  - ① 本学大学院の英語英文学専攻の授業科目、ならびに英語英文学専攻が承認した本学大学院他専攻修士課程および博士前期課程の授業科目
  - ② 本学大学院の英語英文学専攻が承認した、委託聴講生制度の協定を結んだ他大学大学院の授業科目

●履修方法

英語英文学論文演習Ⅰ-1～Ⅶ-2は、全年次において履修または再履修できるが、修了要件単位には数えない。

●修士論文資格試験

修士論文を提出するための条件として、提出予定者は、あらかじめ専攻の定める資格試験（Comprehensive Examination）に合格していなければならない。

●研究指導体制

- (1) 入学後の早い時期に、大学院学生の希望および研究領域と本専攻の専任教員の専門領域を複合的に勘案し、指導教員を決定する。
- (2) 指導教員とともに副指導教員を決定し、複数指導体制とする。
- (3) 大学院学生は、研究全般に関して、適宜指導教員および副指導教員に相談することができる。
- (4) 毎年度、大学院学生は指導教員と相談の上、研究計画を立て、指導教員は「研究指導計画書」を作成して指導する。
- (5) 2年次に各学生の修士論文指導教員を決定する。大学院学生は定期的に論文演習等を通して修士論文指導教員の論文執筆指導を受け、修士論文を執筆する。
- (6) 修士論文指導教員は、大学院学生の希望と研究領域に応じて、本専攻の専任教員以外にも依頼することができる。

●課程修了の所定単位を修得済みの者が標準修業年限を超えて在学する場合

課程修了の所定単位を修得済みの者は、原則として英語英文学論文演習のみ履修することができる。

授業科目一覧

- ：リサーチワーク科目
- 無印：コースワーク科目

授 業 科 目	単 位	備 考
英語学研究Ⅰ-1	2	☆
英語学研究Ⅰ-2	2	☆
英語学研究Ⅱ-1	2	☆
英語学研究Ⅱ-2	2	☆
英語学研究Ⅲ-1	2	☆
英語学研究Ⅲ-2	2	☆
言語学研究Ⅰ-1	2	☆
言語学研究Ⅰ-2	2	☆
言語学研究Ⅱ-1	2	☆
言語学研究Ⅱ-2	2	☆
英文学研究法Ⅰ-1	2	☆
英文学研究法Ⅰ-2	2	☆
17世紀英米文学研究Ⅰ-1	2	☆
17世紀英米文学研究Ⅰ-2	2	☆
19世紀英米文学研究Ⅰ-1	2	☆
19世紀英米文学研究Ⅰ-2	2	☆
20世紀英米文学研究Ⅰ-1	2	☆
20世紀英米文学研究Ⅰ-2	2	☆
20世紀英米文学研究Ⅱ-1	2	☆
20世紀英米文学研究Ⅱ-2	2	☆
現代作品研究Ⅰ-1	2	☆
現代作品研究Ⅰ-2	2	☆
現代作品研究Ⅱ-1	2	☆
現代作品研究Ⅱ-2	2	☆
現代作品研究Ⅲ-1	2	☆
現代作品研究Ⅲ-2	2	☆
近現代文芸論Ⅰ-1	2	☆
近現代文芸論Ⅰ-2	2	☆
英米文学批評Ⅰ-1	2	☆
英米文学批評Ⅰ-2	2	☆
翻訳理論と実践Ⅰ-1	2	☆
翻訳理論と実践Ⅰ-2	2	☆
翻訳理論と実践Ⅱ	4	☆
●英語英文学論文演習Ⅰ-1	2	☆
●英語英文学論文演習Ⅰ-2	2	☆
●英語英文学論文演習Ⅱ-1	2	☆
●英語英文学論文演習Ⅱ-2	2	☆
●英語英文学論文演習Ⅲ-1	2	☆
●英語英文学論文演習Ⅲ-2	2	☆
●英語英文学論文演習Ⅳ-1	2	☆
●英語英文学論文演習Ⅳ-2	2	☆
●英語英文学論文演習Ⅴ-1	2	☆
●英語英文学論文演習Ⅴ-2	2	☆
●英語英文学論文演習Ⅵ-1	2	☆
●英語英文学論文演習Ⅵ-2	2	☆
●英語英文学論文演習Ⅶ-1	2	☆
●英語英文学論文演習Ⅶ-2	2	☆

備考：☆印は再履修することができる科目を示す  
本年度に開講する科目についてはシラバス等を参照すること

履修要項

●単位の修得方法

修了要件単位（30単位以上）は次のように修得する。

- (1) 修了要件単位のうち、20単位以上を左記の本学大学院の英語英文学専攻において修得する。
- (2) 残りの10単位以上については、次の科目から修得する（ただし、1科目の単位の一部を分けて算入することはできない）。
  - ① 本学大学院の英語英文学専攻の授業科目、ならびに英語英文学専攻が承認した本学大学院他専攻修士課程および博士前期課程の授業科目
  - ② 本学大学院の英語英文学専攻が承認した、委託聴講生制度の協定を結んだ他大学大学院の授業科目

●履修方法

英語英文学論文演習Ⅰ-1～Ⅶ-2は、全年次において履修または再履修できるが、修了要件単位に算入することが認められるのは、4単位までとする。

●修士論文資格試験

修士論文を提出するための条件として、提出予定者は、あらかじめ専攻の定める資格試験（Comprehensive Examination）に合格していなければならない。

●研究指導体制

- (1) 入学後の早い時期に、大学院学生の希望および研究領域と本専攻の専任教員の専門領域を複合的に勘案し、指導教員を決定する。
- (2) 指導教員とともに副指導教員を決定し、複数指導体制とする。
- (3) 大学院学生は、研究全般に関して、適宜指導教員および副指導教員に相談することができる。
- (4) 毎年度、大学院学生は指導教員と相談の上、研究計画を立て、指導教員は「研究指導計画書」を作成して指導する。
- (5) 2年次に各学生の修士論文指導教員を決定する。大学院学生は定期的に論文演習等を通して修士論文指導教員の論文執筆指導を受け、修士論文を執筆する。
- (6) 修士論文指導教員は、大学院学生の希望と研究領域に応じて、本専攻の専任教員以外にも依頼することができる。

●課程修了の所定単位を修得済みの者が標準修業年限を超えて在学する場合

課程修了の所定単位を修得済みの者は、原則として英語英文学論文演習のみ履修することができる。